

令和5年度 新県立中央図書館交流スペース等（ソフトインフラ）
事業構想策定支援業務委託提案評価基準

【評価項目・基準】

大項目	小項目	判断基準	配点 (100点)
実施方針等	(1) 業務目的 ・ 内容	業務目的、事業構想策定支援のために必要な事項の理解度が高く、優れているか。 提案された内容が実現可能で、かつ優れているか。	20
	(2) 実施体制 ・ 手順	業務を実施する上で実現可能な体制が整っているか。 業務の実施手順の妥当性が高く、優れているか。	20
	(3) 工程計画	業務の工程計画の妥当性が高く、優れているか。	5
	(4) 進捗管理	適宜、調査状況の報告が行われ、進捗状況に応じた対応が図られるか。	5
業務実績 研究実績	(1) 業務実績	次の業務実績を有していること。責任者又は主任は、ア～ウに関しては必ずいずれか一つ以上の実績を有していること。ア～オについて、複数種類の実績を有している場合、中心的な立場での実績や経験がある場合は加点する。	15
	ア 図書館マネジメント	過去に国内外の都道府県又は中核市相当が設置した公立図書館の管理・運営の実務実績が5年以上あること。もしくは基本構想や基本計画等で図書館の事業プログラム策定において中心的な役割で従事した経歴を有すること	
	イ カルチャー（アート）・マネジメント	過去に国内外の、交流スペースに類似した機能を持つ公共の文化施設の管理・運営の実務経験が5年以上あること。もしくは博物館、生涯学習施設等の展示計画等で事業プログラム策定において中心的な役割で従事した経歴を有すること	
	ウ 複合施設のマネジメント	県・政令指定市、中核市規模が設置する図書館と生涯学習施設等の複合施設で、施設全体の管理・運営の実務経験が5年以上あること、もしくは全体のマネジメント、事業プログラムの策定において中心的な役割で従事した経歴を有すること。	
	エ システム、データベースの構築・設計	Webやデジタルサイネージ等を組み合わせたメディアを活用した、公共の文化施設・文化事業のシステム、又はそれらと連動したデータベースの構築、設計を行った実績があること。	
	オ 調査研究	過去に図書館の施設のマネジメント、今後の図書館のあり方及び社会的意義に関する調査研究、又は著作出版の実績を持っていること	

(次ページに続く)

大項目	小項目	判断基準	配点 (100点)
特定テーマに対する提案	(1) テーマ 1	内容に説得力があり、実現性が高いと認められるか。システムなど技術的な課題等に対して、妥当な解決方法が示されているか。	15
	(2) テーマ 2	着眼点が妥当であるとともに、見識が十分であり、効果的な解決方法が示されているか。また解決方法のために、必要な事項が整理し、列挙されているか。	15
経済性	(1) 事業費・費用対効果	提案内容が、見積価格に見合った内容になっているか。費用に対する事業効果が適正な水準にあるか。	5